

政務活動費 活動実績報告書

件名	日本の3大杉と言われる吉野杉と南北朝の後醍醐天皇の歴史を学ぶ
使途	1 調査研究費 2 研修費 5 要請・陳情活動費
金額	80,000円
期日	令和6年3月25日(月)～令和6年3月27日(水)
場所	① 奈良県川上村 ② 奈良県吉野町
目的	① 吉野杉の保護活動と活性化について ② 後醍醐天皇と地域の繋がりについて
報告者	八女市議会議員 原田英雄
参加者	原田英雄、栗原吉平、川口堅志
概要	<p>① 川上村(説明案内:松本博行副議長、上田一仁参事、森川万里フォレスター、松本局長) 日本の人工林のルーツと言われているが、急峻な地形と多雨条件から植栽本数が2000本/10aと多く、徐々に間伐しながら大径木を育てる方式であり、最終的に樹齢100年で伐採する。品種は在来種で全て実生であるため、繰り返し間伐することで優良な生育状況の大径木を残すことになる。昨年平均材価28,000円 平成27年に林業再生推進組織として吉野かわかみ社中を設立。また林業フォレスター1名を県より派遣し、森づくりの専門的指導助言を行なっている。近年、杉花粉舌下免疫療法に活用する成分が特に吉野杉に多いとの研究結果から医薬品原料としても注目されているとのこと。雨天であったが大径木の杉林と移動販売の拠点でもあるふれあいセンターを見学し、村営の宿泊施設に宿泊した。</p> <p>② 吉野町(説明案内:中井章太町長、中尾勇産業観光課長、谷村延彦課長補佐) 吉野山は平成16年に世界遺産に登録されており、平成26年には八女市と友好交流都市協定を締結し様々な交流事業を行なっている。また、美しい木目を活かした吉野杉の加工地として製材業が盛んに行なわれており、大径木は全国の有名な神社仏閣にも使用されているとのこと。吉野山にある後醍醐天皇ゆかりの地、金峯山寺、吉野神宮、如意輪寺を吉野町の職員さんに案内いただき、改めて南北朝の時代背景を学習した。</p>

所感

美しい吉野杉は、実生から間伐を繰り返し長い年月をかけ選別された賜物であるとのことで驚かされた。このことは急峻な地形から創意工夫された生産体系であり、先人の努力が築き上げたものと現地で見聞してよく理解できた。林業は自然環境と調和し長期のスパンで考える必要があるものだと改めて考えさせられた。

また、懐良親王、良成親王のルーツである吉野町は、町民とともに貴重な歴史資源を守りつつ様々な方法で情報発信を行ない観光客の誘致に取り組んでいる。その成果かインバウンドの来訪者も多く、あちこちで外国語が飛び交っていた。あいにくの雨模様で桜開花前であったが、特に金峯山寺のご開帳の影響もあってか大型バスも数十台停車中であり、近鉄電車からも多くの観光客が降り立っていた。これらの素晴らしい歴史資源は、未来永劫引き継がれるものであり、地域経済にとって大変貴重で有益なものとなるであろう。八女市としても、後醍醐天皇のご縁を大切に今後とも南北朝の歴史、懐良親王、良成親王の終焉の地として守り続けていかなければならないと改めて決意し、帰路についた。

